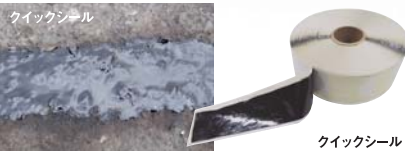




施工手順

※本製品は非常に耐水性の高い材質であるため、施工範囲にあるゴミや砂や埃等を掃除した後、ひび割れに水分が残っていない状態を確認して施工を行って下さい。水分やゴミは接着性と耐久性の低下を助長し、ひび割れに対する予防保全能力を低下させます。

▶3mm以下のひび割れの場合



3mm以下のひび割れ(ひび割れの初期段階)には、クイックシールのみの施工で、水の浸透を防ぐことができます。

1 2 4 5

▶3mm～5mmのひび割れの場合



3～5mmのひび割れには、クイックスティックのみで施工を行います。また、タイヤの摩擦が発生する場所、極度の摩耗が予測される場所には、このスティックのみの施工方法を強く推奨します。

1 2 3

▶5mm以上のひび割れの場合



5mm以上のひび割れには、クイックスティックを施工した後、クイックシールの施工を行います。クイックスティックを深部まで浸透させて、クイックシールによるバンドエイド機能により、耐久性が加味されます。

1 2 3 4 5

1 施工前

施工には、可能な限り前日が晴天で、路面が乾燥している日を選んで下さい。



施工前



道具を使って掃除します。

2 清掃と乾燥

ひび割れ周辺を清掃します。
ひび割れ内部を清掃し、乾燥させます。



念入りの掃除は、接着力と耐久性をアップします。



バーナーで水分を飛ばし、しっかりと乾燥させます。

3 注入

ひび割れが3mm以上の場合は、クイックスティックを使用してひび割れ深部までシール材を注入します。



クイックスティック



クイックスティックをバーナーで炙ると液状化します。



注入完了。軽度のクラックならばこの時点で完了です。

4 シール

クイックシールをひび割れの上からオーバーバンドし、ひび割れの周囲から施工箇所の保護を行います。粘着面を舗装のひび割れの上に貼り、ローラーや踏付け等により圧着後、剥離紙を剥がして貼り付けて下さい。



クイックシール



テープ状のシール剤を、ひび割れに沿って貼っていく。



上紙を剥がせば、貼付け完了。

5 完成

仕上げは、ガスバーナーで炙り、路面となじませていきます。路面の凹凸が浮き上がれば密着しています。縁の定着には特に注意して下さい。早期交通開放が必要な場合はデタック(付着防止剤)の使用をお勧めします。



バーナーで炙り、路面となじませていく。



完了